

研究課題名

膿胸に対する胸腔内薬剤投与の有効性および安全性の検討：炭酸水素ナトリウム、ウロキナーゼおよび生理食塩水の後方視的比較

研究の目的

膿胸に対しては、抗菌薬治療および胸腔ドレナージに加えて、胸腔内に薬剤を投与する治療が行われることがあります。従来、胸腔内投与薬としてウロキナーゼが広く使用されてきましたが、近年の供給制限などにより、代替となる治療法の検討が必要となっています。当院では、膿胸に対する胸腔内投与として、ウロキナーゼ、炭酸水素ナトリウム（商品名：メイロン）または生理食塩水を使用してきました。本研究では、これらの治療を受けた患者さんについて、治療成功率、胸腔ドレーンの管理期間、抗菌薬の投与期間、有効性および安全性などを後方視的に比較検討し、今後の膿胸診療に役立てることを目的とします。

研究の対象となる方

2011 年 8 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日までに、市立三次中央病院で膿胸と診断され、抗菌薬治療および胸腔ドレナージに加えて、炭酸水素ナトリウム、ウロキナーゼまたは生理食塩水の胸腔内投与を受けられた患者さん。

利用する診療情報

年齢、性別、喫煙歴、身長、体重、Body Mass Index (BMI)、血液検査データ、抗菌薬の種類および投与期間、胸腔ドレーンの留置期間、胸腔内投与薬の種類、投与量、投与回数および投与期間、薬剤投与から抗菌薬終了までの期間、薬剤投与から胸腔ドレーン抜去までの期間、手術の実施、退院時の転帰、治療に伴う合併症および有害事象など。

研究の方法

診療録に記録された情報を用いて、炭酸水素ナトリウムを胸腔内投与した患者さん、ウロキナーゼを胸腔内投与した患者さん、および生理食塩水を胸腔内投与した患者さんの 3 群について、患者背景、治療成功率、抗菌薬投与期間、胸腔ドレーン留置期間、有効性および安全性などを後方視的に比較解析します。本研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。

個人情報の取り扱い

研究に用いる情報は、氏名、患者 ID、生年月日など、個人を直接特定できる情報を削除または置き換えたうえで解析します。研究結果は学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される形で公表されることはありません。

研究実施期間

倫理委員会承認後から 2030 年 3 月 31 日まで。

研究責任者

市立三次中央病院 呼吸器内科 研究責任者：倉富 亮

問い合わせ先

市立三次中央病院 呼吸器内科 担当者：倉富 亮

住所：〒728-8502 広島県三次市東酒屋町 10531 番地

電話：0824-65-0101 受付時間：平日 8:30～17:00

研究への協力を希望されない場合

本研究の対象となる可能性のある方で、ご自身の診療情報を本研究に利用されることを希望されない場合は、上記問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいた場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。なお、すでに解析が終了し、学会発表や論文発表が行われた後など、個別の情報を除外できない場合があります。